



# とうほく

AOMORI・IWATE・MIYAGI・AKITA・YAMAGATA・FUKUSHIMA



## 年頭のご挨拶

東北地区屋外広告美術業組合連合会会長 大戸 邦男  
(福島県屋外広告美術協同組合理事長)  
(株)クリエイティブダイワ

2024年の念頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

今年元旦早々から「能登半島地震」が起こり翌日には羽田空港滑走路での事故、その翌日の三日には北九州市の「鳥町食堂街」の火災と新年早々に大変な出来事が続きました。その様な中でも日本の経済は少し上向いているようです。

私達の業界についてもイベント関連が復活して活況を呈しているようです。実際イベントのみの企業では大変忙しい状況が続いているようですがコロナ禍で一旦離れた人材が中々集まらない状況もあるようです。又、コロナ禍の四年分の資金的な穴埋めは大変な状況との事です。今後も何時どのような事が起こるか分かりませんので内部留保蓄積の大事さが分かります。

さて、看板の安全点検の必要性ですが東北の殆どの各県・各市において条例化がなされました。点検の必要性はある程度認知されてきております。看板を掲出している企業の社会的責任を重視する大手上場企業においてはコンプライアンスの観点からも積極的に次年度予算取りを始めています。しかしながら地元企業の一部にはまだ理解が得られない方々がおられます。そんななか次のような事が有りました。

酒販店を営んでいる知人から私の携帯に連絡がありその友人がお酒を納入しているラーメン屋さん看板が強風で一部が剥がれ危ない状況との事、何とかしてくれと依頼され直ぐに工事担当を派遣して取りあえず撤去を致しました。酒メーカーさんの

ロゴが入った木枠組みにカラートタンを張った昔ながらの袖看板でした。看板内部の木組部は腐っており今まで風に飛ばされないので不思議なくらいでした。そのお店はテレビで放映され大変ご繁盛しているお店でした。お店のお客さんから看板はどうしたのと言われた様で早急に作って欲しいと依頼されました。鉄骨枠で外照式LED照明を使用して納品した次第です。この事例の様に製作時に予算の関係で木組みにして取りあえず持てばいいとの判断で製作された看板が経年劣化して危ない状況にあるのが現実です。そのお店が繁盛していればプロフィットコストとして新たな看板に投資をする事が出来ませんが、ご商売が厳しい状況での店主の方々は新たな看板の製作に否定的になってしまうのが現実です。しかし看板が経年劣化しない様に定期的にメンテナンスする事も大変重要なことです。こちら辺の微妙な所を理解して頂くように業界として店主の皆様に根気強く説明をして行かなくてはならないと思えます。それが私達の業界に果たせられた使命ではないでしょうか。

恒例の、今年のお勧めの本です。「世界のニュースを日本人は何も知らない」谷本真由美著です。大変好評で①〜⑤まで発売されています。興味・深々の一冊です。

結びに、今年も役員・会員の皆様のご指導・ご協力をお願い致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 御社の出力、引き受けます。



本社・福島事業所

各種インクジェット出力機、レーザー加工機、ルーターを多数導入しています

**HARAMACHI SIGN**  
株式会社 原町サイン



<https://haramachi-sign.com/>



お客様のニーズにあったサイン創り

## コバカシ

〒966-0057 福島県喜多方市宇井戸尻 4127-2  
TEL: 0241-22-1168 / FAX: 0241-22-1137  
E-mail: koba.s@topaz.ocn.ne.jp